

令和8年7月吉日

会 員 各 位

京都市産業技術研究所内
西 陣 織 物 研 究 会
委 員 長 山 崎 清 一 郎

第2回研究例会の御案内

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は当研究会の運営に御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第2回研究例会を下記の要領で開催いたします。御多用とは存じますが、是非多くの会員の皆様に御参加いただきたく、御案内申し上げます。

記

今回の研究例会はオープンファクトリー形式で、随時来所者に産技研の取組み事例をご紹介します。下記期間内の都合の良い時間帯にお越しください。

期 間 令和8年8月24日（月） 13時00分～17時00分
8月25日（火） **13時00分～18時30分（延長オープン日）**
8月26日（水） 13時00分～17時00分

場 所 京都市産業技術研究所 地下2階 製織実験室
京都市下京区中堂寺栗田町9-1 京都リサーチパーク 9号館南棟
（五条七本松西入南側） 駐車場有料

テーマ ①複動電子ジャカードとレノヘルドを用いた緞り織の実装
②ER レピア織機へのタックイン（耳形成）装置の実装
③ウェフトフィーラー、カットフィーラーの新実装例の展示

担 当 京都市産業技術研究所 製品化・人材育成支援グループ 仮屋 昭博
加工・製造技術グループ 本田 元志

- ① 緞り織の製織において伝統的に用いられている糸綜統は、複動式の開口動作では捌きが悪く製織を邪魔する懸念があります。今回糸綜統の代わりにレノヘルドを用いることで、複動電子ジャカードとの組み合わせで紋紗が製織可能なことを確認しました。最新の設備でも西陣織の多様性を確保するための一助となります。

② レピア織機においてよこ糸の折り返した耳を形成するタックイン装置を、西陣で普及しているER レピア織機に実装しました。実際の耳の状態や機械の動く様子、ハンドリングの実情などを共有いたします。

③ ウェフトフィーラーとカットフィーラーについて、汎用的な光電センサーとマイコン、ソレノイドを使って実装した例を展示いたします。

受 講 料 無料

申込方法 **申込不要。期間内に直接会場までお越しください。**

※予約を希望される場合は下記へご連絡ください。

電話番号：**075-326-6100** 担当：本田

定 員 **定員はありません。**

主 催 西陣織物研究会